

Umbre

2021

ANNUAL REPORT

SAGE JAPAN
TOMORROW

The problem of mass
destruction of
umbrellas



ゴミの受け入れ

ビニール傘を含む大量のプラスチックゴミを受け入れてきた中国が環境汚染を理由に受け入れを停止しました。

その結果ビニール傘やその他のプラスチックが日本国内で処理できずに残っています。



STATUS QUO

警視庁が保管する遺失物のうち、31%が傘

問題と現状

レジ袋が有料化されたというニュースは私たちの記憶に新しく、レジ袋有料化によってごみ問題の意識が更に高まったように感じる。だが、今日レジ袋より問題視されるべきと言われているのが、傘の廃棄問題だ。

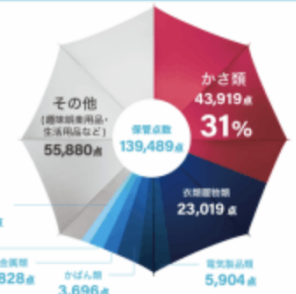
日本国内での傘の消費量は年間約1億3000万本と言われ、その消費量は世界一とまで言われている。さらに、そのうちの8000万本がビニール傘ということも明らかになった。

大量廃棄される傘は、リサイクルすればいい、というわけにはいかないのが問題だ。多くのビニール傘は、材質が一定でなかったり強力な接着剤が使われていて、鉄とプラスチック部分の分別が難しく、リサイクルに適していない。

“日本の傘消費量は世界一。”

また、今までビニール傘を含む大量のプラスチックごみを受け入れてきた中国が、環境汚染を理由に2018年の1月から受け入れを停止した。

この中国の決定により、1ヶ月に2-30トン運ばれていた大量のプラスチックゴミが日本で滞留している。滞留したゴミは埋め立てに回されるが、埋め立てによって起こる健康や農作物への被害、埋め立て地からマイクロプラスチックが流出し、生態系へ影響を与えることなどが懸念されている。このまま年間約1.3億本の傘が捨てられ続けられれば、ゴミ埋め立て地が寿命を迎えて受け入れられなくなってしまうことも考えられる。



警視庁 遺失物取扱状況 (平成30年中)



廃棄物処理場に運ばれてくる大量の傘

生態系への影響

埋め立てによってもともとその地域に生息していた生物の生息地が奪われたり、住みづらい環境になってしまう



OUR STRATEGY

名前と由来



TOMORROWという名前には私たちにとって身近な傘との付き合い方がtomorrowという身近な未来を変えることに繋がるという意味が込められている。このマークには捨てられたビニール傘が海に流れ込み海の生物に影響を与えている、ということを表している。これは実際に起こっている問題で、傘の廃棄問題はまだ多くの人に知られていない。私たちはまず個人の傘の所有数を減らすために、この問題について多くの人に知ってもらう必要があると感じた。また、捨てられて居場所がなくなってしまう傘を救い、新しい形に変えて長く使ってもらうことが私たちの役目である。

COMMUNITY AWARENESS

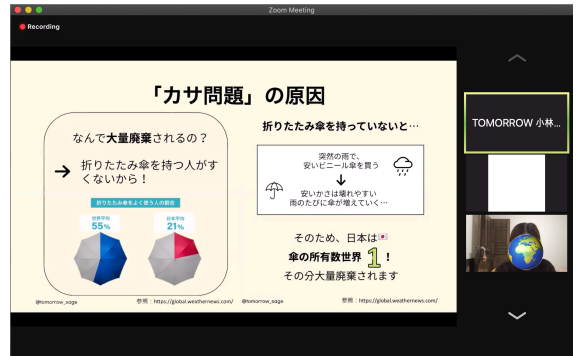
📍 これまでの成果

これまでTOMORROWが行ってきプロジェクトは大きく分けて2つ。



SNS上での情報発信

私たちは主にInstagramとTwitterを用いて傘問題について発信してきた。特にInstagramでは問題について見る人の興味を引くように自作のスライドを投稿してきた。



オンラインワークショップ

コロナ禍で対面のワークショップは困難だったためZoom上でオンラインワークショップを開催した。ワークショップ内ではそもそも傘問題とは何か、というところから始まり、家でできる傘のリメイク方法や傘の問題に取り組む企業の紹介、さらに最後にはクイズも行った。また、事後アンケートも実施し多くの意見をいただいた。

この二つのプロジェクトの連関性

ワークショップや事後アンケートを通していただいた意見を踏まえ、SNSを利用して情報発信をしていくという形をとることで、ニーズや疑問に対応した、最も求められている情報を発信することができる。

団体についてのご意見、ご質問等ございましたらお書きください。

2件の回答

コロナ禍で大変かもしれませんが頑張ってください！

tomorrowのマークの意味が気になります。これからどういう風にビニール傘とかの問題を解消していくのかも！またワークショップあったら参加したいなと思います！応援してます。今日はありがとうございました😊

ワークショップに参加する前後で、傘問題に対する意識に変化はありましたか。

あった	25%
なかった	75%

紹介した企業やサービスの中で利用したいと思ったものはありますか。

ある	100%
ない	0%

それほどの様な変化ですか。

とても思う	2 (25%)
思う	1 (12.5%)
あまり思わない	1 (12.5%)
思わない	1 (12.5%)
その他	1 (12.5%)
不明	1 (12.5%)

ビデオで見せたイヤリングやポーチを見て、自分も作ってみたいと思いましたが。

とても思う	70%
思う	20%
あまり思わない	0%
思わない	0%

Your Story 1h

TOMORROWの名前の由来とマークの意味は？という質問をいただいたので紹介します！

まずTOMORROWという名前には、私たちが持つ身近な傘との付き合い合い方が「TOMORROW」という身近な未来を変えることに繋がるといった意味が込められています。このマークは捨てられたビニール傘が海に流れ込み、海の生物に影響を与えている、ということを表しています。これは実際に起きている問題です。身近なビニール傘が生態系にまで影響を及ぼすことがあるんです👉

だから1つのカサを大切に🌈

ワークショップ全体を通してご意見、ご感想、ご質問等ございましたらお書きください。

4件の回答

傘はとても身近な物ですが、知らない問題が多くあったのでとても勉強になりました！これからしっかり意識して過ごして行きたいとおもいます。

電波環境の不具合でビニール傘リメイクの辺りからの参加になってしまい、冒頭を聞けなかったのがとても残念でした。ですがクイズやリメイク動画を通して、今まで考えたこともなかった傘の廃棄問題について早く興

SUSTAINABILITY

📍 今後の展望

1. 不要になった傘からの商品製作・販売 🍂

現在試作しているポーチやイヤリングを販売することを計画している。不要な傘を学校や駅の遺失物センターで回収できるか確認をとっている。初めの販売は数量限定でInstagramでの予約制にし、近日中にも行う予定。また今後はさらに商品の試作を続けより完成度の高い商品を開発すると共に、オンラインでの販売も検討し、事業の安定化をはかる。



2. ホームページを利用した活動報告 📣

現在私たちが行なっているTwitterとInstagramに加え、独自のホームページを作ることでより活動報告の場が増えるとともに、より持続的に傘問題への理解を深めることができると考えられる。(現在wordpressを利用して検討中)



3. ワークショップの更なる展開 🗺️ → 👥

前回行ったワークショップは対象を限り行った。その際に対象外であった方から参加したかったという声も得られたので、これからは対象をより広げ、私たちの活動に興味を持ってくださった方皆さんが参加できるような形を整えていく。

※ 校内販売で得た利益は、商品制作の際の材料費、Webページ作成の費用に活用する

OUR GOALS

📍 Sustainable Development Goalsとの関連

私たちは、日本のビニール傘の消費量が世界一だということを知らなかった。雨が降る度に多くの傘が消費され、それらは数回しか使われずに大量のゴミとなっていく。その現状を知らない多くの人に、まずはこの問題を知ってもらいたいという思いでこのプロジェクトを立ち上げた。私たちは、多くの人がひとつの傘を大切に使うようになることをゴールとする。そのために、情報発信によって意識を広め、ワークショップ・商品の販売を通して傘問題により強い問題意識を持って貰いたいと考えた。

今後もこの活動を続け、さらに発展させることで、更なる問題解決を目指していきたい。

数回しか使わずに捨てられてしまう傘をリメイクして新たな商品にすること、さらに情報発信を通して個人の無駄な傘の消費を減らすことで「ひとつの物を大切に使う」という意識を定着させ、資源の枯渇を阻止する。

海洋プラスチックの問題になる廃棄される予定の傘をリユースして商品にする取り組みにより、海洋環境の保全を実現。

SNSの情報発信によって問題意識を持たせ、傘の廃棄量を減らすことで、廃棄ゴミの埋め立てによる生物多様性損失の阻止を図る。

14 海の豊かさを
守ろう



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう

